

感染防止策チェックリスト

◆施設を利用するにあたり、次のことについて確認します。

- 次の事項全てに該当しないと、利用することができません。
 - 参加時に体温の測定ならびに症状（咳、息苦しさ、だるさ等）の有無を確認し、具合の悪い方は参加することができません。
また、特に緊急事態宣言対象地域や、札幌市など感染者が多く確認されている地域への往来が14日以内にある場合は健康観察を行い、参加の有無を慎重に判断しています。
 - 発熱や風邪症状で受診をしている人や服薬等をしている人は参加しません。
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた人との濃厚接触がある場合は参加しません。
 - 発熱者や具合の悪い方が確認された場合には、接触感染の恐れがある場所や接触した可能性がある人等に対して、適切な感染予防対策を行います。
※感染予防対策例～接触感染のおそれのある場の消毒
接触した可能性のある人は外出を控え十分な健康観察を実施する等（必要に応じて保健所に相談し対応することとします。）
 - 会場に入る際の検温や消毒・手洗いの実施ならびに、イベントの途中においても適宜消毒・手洗いができるような場または機会を確保します。
 - 主に参加者の手が触れる場所を定期的にアルコールや次亜塩素酸ナトリウムを含むものでふき取る作業について協力します。（最低でも実施前後には行う）
 - 飛沫感染等を防ぐための徹底した対策を行います。
 - ・お互いの手を伸ばして届く範囲以上の距離（2m程度（最低1m）を保つ。
 - ・声を出す機会を最小限にする。
 - ・マスクを着用、咳エチケットを徹底する。
（マスクを持参していない人には主催者側でマスクを配布）
 - イベントの形態に合わせた感染拡大予防のための種目別ガイドラインに則した感染防止策をイベント主催者および施設管理者の双方において徹底します。
 - 人を密集させない環境を整備します。
（人数をいつもより少なくする、利用の際に時間差を設ける、導線を一方向にする、対面による会議を避け、書面会議や電話・ビデオ会議を利用する など）
 - 大きな発声をしません。（呼吸が荒くなること、ラッパ等の鳴り物を含む）
 - 共有物の適正な管理または消毒に協力します。（参加者が共有するものやドアノブ等様々な人が触れる物や場所の消毒、トイレは蓋をして流す など）
 - 参加した者の中に感染者が出た場合には、その参加者に対して連絡を取り症状を確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡が取れるように連絡先を確実に把握しています。
 - 参加した個人に対し、保健所などの聞き取りに協力すること、また濃厚接触者となった場合は、2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性があることを説明し、了承を得ています。
 - 終了後は密接場面（集まった会話等）を作らないように速やかに解散します。

☆利用代表者連絡先（施設において感染が確認された場合に必要となります。）

団体名： _____ (西部・室蘭・登別)

氏名： _____ (選手・引率・外部C・保護者)

居住地： _____ 当日の体温 _____

TEL： _____

利用年月日： 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

施設管理者記入欄

入館時刻 _____ :

退館時刻 _____ :

※大会に参加する日毎に1枚 受付にて提出してください。